2015年11月5日

株式会社トモズ 徳廣

免税販売時の現状の課題と IC カード化によるメリット

- 1. 現状の免税販売時の会計の流れ
 - (1) 免税制度を使用するかの確認
 - (2) パスポート及び入国日の確認
 - (3) 免税制度の概要説明
 - (4) 免税モードでの決済
 - (5) PDA を利用したパスポート情報の読み取りもしくは、購入記録票への記載(手書き)
 - (6) 購入者誓約書に客様のサインをいただく。
 - (7) 購入記録票の内容確認、領収証の添付、「輸免」印の割り印押印処理。
 - (8) 商品の袋詰め
 - (9) 注意事項の説明をした上で商品のお渡し。
- 2. 現状の課題と IC カード化によるメリット
 - (1) 会計に際してのパスポート情報の確認作業が煩雑であり、会計時間が長くなっている。

現状、PDA を使用してパスポート情報を読み取るオペレーションの場合、1 人当たりの会計時間は、約5 分。PDA での読み取りが不可能で手書きのオペレーションになった場合、約10 分かかる。

- →IC カード化により大幅な時間短縮につながり、お客様を待たせる時間の短縮につながる。1 日当たり処理人数が大幅に改善する。
- (2) 自動化ゲートを通過したお客様で証印をもらい忘れていた場合、免税販売が不可能になっている。
 - →IC カード化によりパスポート情報がデータ化されれば、このような事態の解消につながる。

- (3)パスポートをホテル等に忘れてきたお客様に対し免税販売ができない。
- →IC カード化によりパスポート情報がデータ化されれば、ルール決めをする必要はあるが、 パスポートがなくても販売するオペレーションが可能となる。

(4)免税対応専用レジの設置

免税販売のオペレーション上、1人当たりの会計に時間がかかることから、免税専用レジを 設置するオペレーションをせざるを得ない。

 \rightarrow IC \hbar - \hbar ・化により、1人当たりの時間短縮につながれば、通常 ν がでの対応が可能となり、小売側にとっては効率化となる。

3. その他現場からの声

- (1) IC カード化する場合にクレジットカード機能をつけて、その IC カードで決済もできるような オペレーションになれば、お客様にとっても利便性が向上する。
- (2) 消耗品(医薬品、食品、化粧品、日用品、お酒、たばこ等)、一般品(家電、時計、 衣料品、書籍等)の免税物品の分類はもう少し簡素化(可能ならば統一化)できない か?消耗品と一般品が1人当たりの会計で混在する場合、ホペレーション上、かなり煩雑と なり、会計に時間を要する。

<別添資料1>

免税販売時の手順書

<別添資料2>

PDA 操作マニュアル

以 上

・購入者誓約書及び購入記録票、確認内容及び記載事項

◆パスポート入国日確認



◆パスポート見本

PASSPORT	P OSAGO AND STATE OF THE STATE	JAPAN (ICE OF CONTRACTOR SAL
	KIYOTAKA III. IB/NATION F 1 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	T (470) HA EMADE/Separation of beauty 大澤清隆
P <jpnosawa<<k< td=""><td></td><td>************</td></jpnosawa<<k<>		************

購入者誓約書及び購入記録票記載事項

	記載すべき事項	購入者誓約書	購入記録書
1	購入者の氏名、国籍、生年月日、在留資格及び上陸年月日	0	
2	購入者の所持する旅券等の種類及び番号	0	0
3	輸出物品販売場を経営する事業者の氏名または名称	0	
4	輸出物品販売場を経営する事業者の納税地及び		
	所轄税務署名、輸出物品販売場の所在地		O
(5)	購入年月日	0	0
6	品名、品目ごとの数量及び価格、物品の価額の合計額	0	
7	購入後において輸出することを誓約する旨及購入者の署名	0	· -

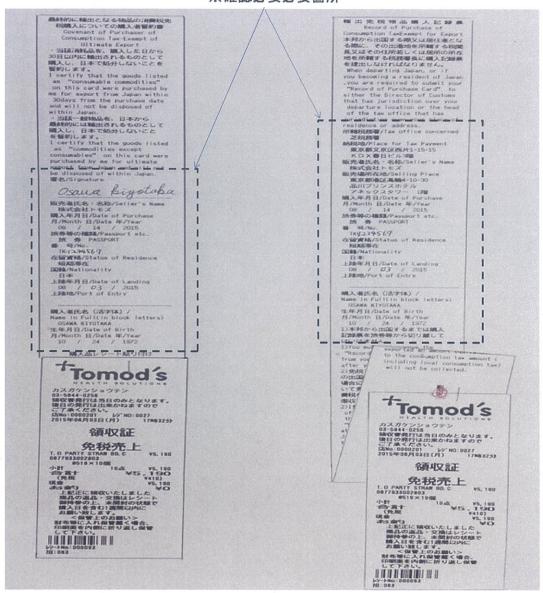


O PDA (パスポートスキャン)使用時

◆購入者誓約書見本 【会社控え用】

◆購入記録票記載見本 【パスポート添付用】

※確認必要必要箇所



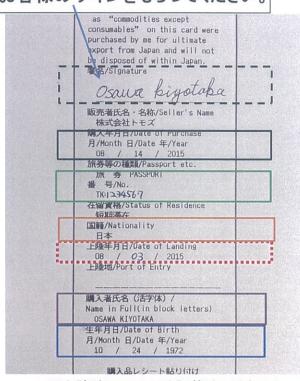
◆購入者誓約書 必要事項拡大 【会社控え用】

◆購入記録票 必要事項拡大 【パスポート添付用】

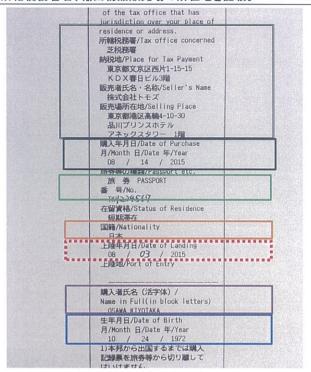
①必要事項確認 ※口で囲った項目を全て確認

①必要事項確認 ※口で囲った項目を全て確認

お客様のサインをもらってください。



輸出物品販売場を経営する事業者の納税地及び 所轄税務署名、輸出物品販売場の所在地を記載。



※上陸地については記載はいりません。

※上記 □ 部分を確認し、記載がない場合はパスポートを確認して手書きする。

②レシート添付



- ②レシート添付 総額を記載
- ③「輸免」割り印



- ③レジドロアーに保管
- ④金庫で保管。(個人情報の為)
- ⑤メール便にて 経理財務部売上担当者宛 「免税販売購入者誓約書送付用ヘッドレター」 を封筒に貼り、1ケ月分まとめて月初に送付。
- ④パスポートの添付
- ⑤「輸免」割り印



〇 手書対応時 (複写式の書類を使用)

- ◆購入者誓約書見本 1・2枚目 【会社控え用】
- ◆購入記録票記載見本 3枚目 【パスポート添付用】
- ①必要事項記載 ※ □ で囲った項目を全て記載①必要事項記載 ※ □ で囲った項目を全て記載

お客様のサインをもらってください。



②レシート添付 総額を記載



輸出物品販売場を経営する事業者の納税地及び 所轄税務署名、輸出物品販売場の所在地を記載。

※店舗毎に印鑑を用意します。



- ②レシート添付 総額を記載
- ③「輸免」割り印



③レジドロアーに保管

④金庫で保管。(個人情報の為)

⑤メール便にて 経理財務部売上担当者宛 「免税販売購入者誓約書送付用ヘッドレター」 を封筒に貼り、1ケ月分まとめて月初に送付。

1

④パスポートの添付⑤「輸免」割り印

The state of the s

PDA、免税アプリ

操作マニュアル

第1版 2015年08月12日

目次

はじめに	1
運用の準備	2
PDA でできること	3
PDA 各部の名称と働き	4
PDA の充電	5
PDA の起動	
ログイン	8
パスポート	9
上陸	10
購入記録票・購入者誓約書の印刷	
アプリの終了	12
オートパワーオフ	13

はじめに

このマニュアルは、PDA(BT-W85TSO)による各処理と、免税アプリの操作方法を 説明するものです。

本マニュアルをよくお読みになり、PDA、免税アプリを正しくご利用ください。

<使用上の注意事項>

- ・ バーコードの読取には本体前面にある「SCAN」キーまたは側面にあるトリガキー (左、右)、「F1, F2, F3, F4」キーのいずれかを使用し、数字の入力は本体前面の テンキーを使用します。(4ページ参照)
- パスポート情報の読取にはレーザースキャナを使用しています。※危ないのでスキャナ部分を覗き込まないでください。
- · PDA ではパスポート情報入力、上陸情報入力が行えます。
- ・ 入力が終わったら、購入記録票を印刷します。

運用の準備

本システムの運用には、以下のアイテムを使用します。

PDA (BT-W85TSO)



パスポートの情報を読み取り、 購入記録票を印刷します。

PDA でできること



パスポート入力

パスポートの上段をスキャン 上段の氏名をスキャン パスポートの下段をスキャン



上陸情報入力

上陸年月日入力 上陸地を選択 在留資格を選択

PDA 各部の名称と働き



「バーコード LED 点灯部]

緑色または赤色が表示されます。

[操作画面]

操作によって様々な画面が表示されます。 情報読取り結果や、入力した日付 などが表示されます。

[F1 +-]

前の画面に戻るときに使用します。入力取消をするときに使用します。

[トリガキー(右)]

バーコードを読み取るときに使用します。 (SCAN キーと同機能)

[SCAN +-]

情報を読み取るときに使用します。 (トリガキーと同機能)

[十字キー]

画面上の項目を選択するとき使用します。

[ENT + -]

入力完了時などに使用します。

[C+-]

入力した値を訂正するときに使用します。

「テンキー」

数字を入力するときに使用します。

「マイナスキー」

マイナス入力モードの切り替えをするときに使用します。

「文字キー」

入力モードを切り替える時に使用します。

[PW + -]

電源をオン・オフするときに使用します。

[TAB+-]

入力位置を変えるときに使用します。

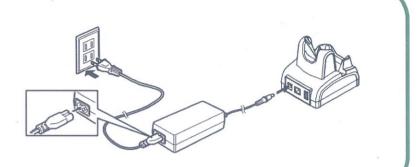
[Fn+-]

ハンディ初期化処理のときに使用します。

PDA の充電

準備

充電器に ACアダプタをセット して、コンセントに接 続します。



充電

充電器にハンディターミナルを 差し込みます。

※赤色のランプが点灯します。
緑色に変わったら充電完了です。

ランプが緑に変わった ら充電完了!



電池残量

電池残量は、操作画面左上に 表示されます。

※電池残量が少なくなったときは、 できるだけ早く充電してください。

電池残量の目安

50%以上

約50~30%

№ 約30~5%

約5%以下

充電中



PDA の起動

PDA を起動するには、PW キーで行います。

1 PDA を起動するには、PW キーを 長押し(3 秒程度)します。



デスクトップ画面にSTARTアイコンが 表示されていることを確認します。



STARTアイコンを選択し、タブルタップまたは 「ENT」キーを押下で、

右図のログイン画面が表示されます。

※自店の店舗名になっているか確認してください。



他店舗が表示されている場合は、 ログイン画面で「F2」キーを押してください。 店舗設定画面に遷移しますので、 プルダウンから自店舗を選択してください。





ログイン

ログイン画面に表示されている「開始」をタップまたは「F3」キーを押すことで、 パスポートスキャン画面に遷移します。



キーで「開始」ボタンを選んで、 FNT キーを押しても結構です。



パスポート

パスポート情報入力画面で行います。

ログイン画面で開始ボタンを押します。



2 パスポート入力画面



SCAND キーを押し、パスポートの

国籍・氏名・パスポート番号・

生年月日のコードを1回スキャンします。







国籍、パスポート番号、氏名、生年月日の表示が 正しければ「OK」ボタンまたは「F4」キーを 押します。



上陸

上陸情報入力画面で行います。

1 上陸年月日には当日から二日前の日付が表示されます。

上陸情報を変更する場合は

以下の順番で上陸情報を入力します。

- 1. 上陸年月日を入力します。
- 2. 上陸地をプルダウンから選択します(任意)。
- 3. 在留資格をプルダウンから選択します(初期値は短期滞在)。

上陸年月日、上陸地、在留資格の入力が完了した場合は、 「OK」をタップまたは「F4」キーを押します。



2 Landing 15:33 2 5

~

-

上陸年月日 2015年3月29日

上陸地東京(成田)

在留資格短期滞在

購入記録票・購入者誓約書の印刷

プリンタの電源と用紙のセットを確認後、
 「OK」ボタンまたは「F4」キーを押します。



アプリの終了

PDA を終了するには、PW キーで行います。

 PDA を終了するには、PW キーを 長押し(2 秒程度)します。



2 ログイン画面で「終了」ボタン又は「F1」キー を押すと、

「アプリが終了します。よろしいですか?」と表示されます。

「はい」を選択すると、アプリが終了して デスクトップ画面に遷移します。

「いいえ」を選択すると、ログイン画面に戻ります。



オートパワーオフ

PDA は一定時間で自動的に画面が暗くなり(バックライトオフ)、また条件により自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。

1 PDA を起動し、何も操作しない状態が1分程続くと、

画面が少し暗くなった状態(バックライトオフ)になります。

画面のどこかをタッチするか、または本体のいずれかのキーを

押すと、元の画面の明るさに戻ります。

また、PDA がクレードルに設置されていない状態で、

何も操作しない状態が10分程続くと、自動的に電源が切れます。

(オートパワーオフ)

パスポート情報が読みにくい場合

パスポート画面は入力せずOKキーを押し、上陸画面へ進んで下さい。 パスポート情報については印刷後、手書きで追記して下さい。

購入記録票印刷後の追加購入の際には

購入記録票を再出力せず、POSレジから出力されたレシートを既に印刷済みの購入記録票に貼り付けして下さい。

プリンタに接続できない場合

システム部まで連絡してください。 プリンタ使用不可時は手書購入誓約書申請書を使用してください。